

令和4年度 妙高高原南小学校グランドデザイン

150年の
歴史を胸に

教育目標
みんな なかよし

合い言葉
文武両道の高原南の子

新たな
歴史の
スタートへ

学校経営の基本方針

- 知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成
- 学習指導と生徒指導に全力を尽くす職員集団とそのための体制整備
- 150年の歴史と新たなスタートを意識した教育活動の推進
- 生き生きと学ぶ子どもの姿の積極的な発信



保護者・地域の願い

- 自分の考えや気持ちを伝え、行動できる子
- 素直で思いやりのあるやさしい子
- 夢に向かってがんばる子
- あいさつや返事ができる子

<目指す子どもの姿>

自分で 自分から

<児童の実態>

- 【知】主体的に学ぶ姿勢が身に付いてきている。さらに学び合い、自分から表現する姿がほしい。
- 【徳】素直で、自分の役割をしっかりと果たそうとしている。気付き、考え、進んで正しい行動をする姿がほしい。
- 【体】体力があり、健康習慣が身に付いてきている。自分の目標に向けて継続的に取り組む姿がほしい。



自分で考え、
自分から表現する子

ともに認め合い
支え合う子

健康でたくましい
心身をはぐくむ子

■取組■■■■

I 授業改善

- 表現力の向上に向けた、単元構成と学習活動の工夫。

II 思考力を高める取組

- 異学年同士での学び合いを通して、多様な考えにふれ、考えを深める「学びっ子タイム」の設定。

III 中学校区・家庭・地域との連携

- 学習への習慣付けを図る家庭学習強調週間の実施。

■取組■■■■

I 授業改善

- 自分事として考えるための発問と自己を見つめ、実践につながる振り返りの工夫。

II 縦割り班活動の充実

- 発達段階に応じたためあての提示や、互いのよさを認め合う「いいねカード」交換や振り返りの場の設定。

III 中学校区・家庭・地域との連携

- 気持ちのよい挨拶、元気な返事、望ましい言葉遣いの推進。

■取組■■■■

I 授業改善

- 児童がよりよい動きや技術を目指すために、ICTを活用した学習活動の工夫。

II 体育的行事の活用と場の設定

- 行事に向けた南っ子タイムの活用や、児童が自ら体を動かしたくなる場の設定。

III 中学校区・家庭・地域との連携

- 親子で健康な習慣づくりを学ぶ機会の設定(すこやかウィーク、健康習慣チェックなど)。